

お客様の声

*お客様のご意見・ご感想です。

*皆様、貴重なご意見等を頂きまして誠に有難う御座います。

牛が本来持っている能力を最大限に引き出す事が我々の目標であり、その結果が良い収益性に繋がり悩みを減らしてくれる事と思っています。

鹿児島県 株式会社丸目畜産 丸目英明 様



子牛の育成、繁殖牛・肥育牛を管理する上で多くの課題があります。農場の環境整備・牛の健康維持・餌の質及び給与量・繁殖成績等を含め、生産性向上による収益性の増加を目標に改善改革に取り組む必要があると思っています。それらを実現する為に、各農家によって色々なアイデアや取り組み方があると思いますが、牛が本来持っている力を最大限発揮させる為にストレスの軽減緩和と肝機能強化(健康な肝機能維持)の二点を最初に取り組むべきだと思います。

私が18か月間KANZOU®給与をして、まず、導入時に風邪を引く

子牛が極端に減った事、たまに風邪を引いても治りが早い事。

次に、前期の粗飼料・全期間の稲ワラの採食量が増加、配合飼料の摂取量の安定、屠畜時の肝臓廃棄の減少など様々な効果を実感しました。

これらの事から現在の牛達は、高タンパクのミルク・配合飼料等の給与・輸入牧草・ラップサイレージ・稲ワラ等に含まれるカビ毒問題により肝機能が大きなダメージを受けている事が推測されます。(血液検査で確認済み)。

KANZOU®を給与する事により肝機能強化が内臓強化につながり、免疫力・飼料効率が上がる。

下痢や風邪などの病気が減る。結果として餌食いの量が増加し発育が良くなります。

株式会社丸目畜産では、2019年7月から肥育牛にKANZOU®を利用してあります。

市場からの導入時から出荷までの間に、ステージによって給与量を変えて給与しております。

株ファブリック大西のKANZOU®は、牛は元より畜産農家の色々な悩みやストレスを解消してくれる画期的なサプリだと思っています。

大分県 浅倉牧場 浅倉博文 様



KANZOU®を給餌すると経産牛の健康状態がものすごく良くなった。今まで種が付かないから廃用に出していた牛に受精卵が付きました。それが顕著に、給餌する前と給餌始めてから顕著に違う。全く違う。種付け・発情も順調。受胎率が良い。

お産の後の胎盤停滞がKANZOU®を与え始めてから一頭も無くなった。お産が楽になった。難産がなくなった。

全頭にKANZOU®を与えているが顕著に違う。

特に歳を取った牛に効果がある。だから更新するはずの牛が、受精卵の

良い卵が付いて良い子牛を産める状態になっている。

うちは子牛に今与えている、それまで与えていなかったけど。KANZOU®を与えている農家さんの子牛を市場で見た時に、あれ、何か変わった?みたいな感じですがよく発育が良くなってきているのが目に見えて分かり、「何か変わった?何か餌変えた?何か変えた?牛がすごく良いのだけど」みたいな感じで聞いたらKANZOU®をやりだしてから凄く良くなったと聞き給餌始めました。発育が良いと子牛の単価も良くなる。だからそこにお金は掛かるけど、それ以上のものが返ってくる。牛の状態が良い。個人的には肥育農家さんに使って頂くと、もの凄く良いと思う。

肝硬変により途中で崩れていく牛が崩れなくなると思う。最後までずっと良い状態を保てて、

最後にビタミンを切る時にもスムーズにいけます。私は目的としては、

もちろん繁殖も良いんですけど、肥育農家さんに使って頂くと良い結果が出ると思います。

肥育農家さんも絶対に肝臓のことを非常に気にされていると思う。

KANZOU®を与えて悪いことは絶対に無いと思う。

肥育農家を引き込むキャッチフレーズを考えた方が良いと思う。

第11回全国和牛能力共進会 宮城大会 2017年9月

第9区(去勢肥育牛)優等賞1席・農林水産大臣賞

鹿児島県 薬師 成人 様



KANZOU®(蒼)を導入から出荷まで、5g/日/頭を全期間で、給与しています。使用し始めて2ヶ月程で、導入子牛における粗飼料の摂取量(2~3割)が上がるのを実感する事が出来ました。また、今までは毎年の肝臓廃棄率が9割以上ありましたが、使用し始めて半年程で肝臓廃棄率が半分以下になりました。枝肉成績では、枝肉重量で平均30kg程増加し、肉質面でも発色・テリも良好でした。何よりも、梅雨時期から夏場の餌食いが安定する事も驚きでした。

導入直後の発熱・下痢などが抑えられ、中期以降の皮膚病やその他の疾病も減っている事も助かっています。おかげさまで、獣医師の訪問回数が極端に減りました。

これからも皆様に株ファブリック大西のKANZOU®給与を薦める事により、さらなる収益性の向上を目指して地域の活性化への一助となれば幸いです。

大分県 渡辺康彦 様・吉竹哲司 様

我々は黒毛和牛の繁殖農家です。また、黒毛和牛の人工授精師を仕事としております。

KANZOU®は後輩の猪君から、これ凄いので騙されたと思って使用してみたいと

言われて使用しました。育成牛に関しては、皆さんが言うように粗飼料の食い込みや腹の膨らみが大変良くなりました。やはり、KANZOU®が肝臓の働きを格段に良くしたからだと思います。

仔牛には、ミルクに添加剤として給餌してもミルクの高脂肪・高タンパク質で体調を崩す仔牛がいましたが、KANZOU®を添加する事を始めたらそのような牛も格段に減少しました。

親牛には出産前3ヶ月から妊娠鑑定が取れるまでKANZOU®を餌に添加して給餌しております。

KANZOU®を食べた牛と食べてない牛の大きな違いが特に分かるのが初回に種付けの時に良く分かり易いです。子宮の反応が全然違います。伸縮反応も大変良く卵子の感触も良いです。

KANZOU®を使用してから牛の毛並みが良くなり種付け回数も減り商売あがったりですが、種付けのお客様にもKANZOU®を紹介しております。

また、卵巣嚢腫(らんそうのうしゅ)になった牛には獣医さんに排卵注射を打ってもらい、餌で摂取しているKANZOU®とは別に水溶性のKANZOU®を溶かし牛に飲ませております。

卵巣嚢腫からの回復が早いです。卵巣嚢腫は牛の空胎期間を延長させることから畜産経営に多大な被害を及ぼす疾病の一つなので是非、皆さんにはKANZOU®を使用し牛の一年一産してもらい、出産した仔牛にもKANZOU®を与え大きな牛を作り儲かる農業をして頂きたいです。

大分県 猪有右 様



2016年から子牛・繁殖・採卵でKANZOU®粉状を使っています。最初は単品では食べないので少し工夫が必要です。

子牛は、スターターや生菌剤等に混ぜると嫌がらず食べる。

体重比率に合わせて給与量を調整しています。状態が悪そうな時は、少し多めに給餌してます。使い始めて実感した事は、KANZOU®を

給餌し始める以前より食欲が旺盛になった。粗飼料の喰い込みがもの凄く増えて、粗飼料の給餌回数が日に1回で間に合っていた子牛が1日に2回・3回やるようになって腹がパンパン出るようになった。

御蔭でデブでない骨太で体格が良い子牛に仕上がるようになった。暑い時期を含めてDGが上がり、安定して良い牛を出荷できるようになってきました。濃厚飼料を給与する事による肝機能への

負担を軽減すると思います。母牛に分娩前から給餌すると、出てくる子牛が健康で丈夫になる事も実感しています。特に、この数年間は下痢や風邪が減り、獣医師の診療回数が極端に減ったので

自分自身のストレスも減りました。ホルスタインの様に、高タンパク質の餌を食べる牛には、是非使用して頂きたいです。